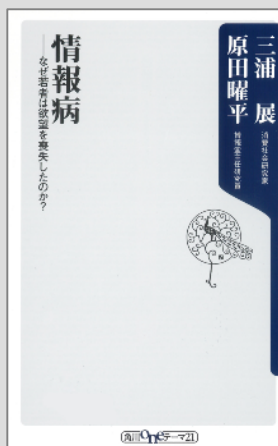


# 情報病

## —なぜ若者は欲望を喪失したのか？



著者：三浦 展（消費社会研究家）

原田曜平（博報堂研究開発局）

刊行：2009年12月

出版社：角川書店（角川oneテーマ21）

定価：本体705円+税

### <目次>

#### まえがき

#### 第一章 性欲が薄れて見えるのは情報化のせい

草食系VS肉食系／年上女性でもOK／デジタルな女しか抱けない／耐えている男性／ジェンダーフリーとレディーファーストを使い分ける女子／・・・

#### 第二章 空気を読むから物欲が縮小してしまう

クルマに憧れた世代、クルマを知らない世代／バイトして物を買ったことはない／モノが消えて、うんちくもいらなくなった／みんなが持っている物は持っておかないと／・・・

#### 第三章 論じたり語ったりするのはオカルト

上司には、うまく言ってほしい／子どもを何人つくるかで盛り上がる／だよねコミュニケーション／思想って崇拜ですよ？／一生懸命書いたり、語ったりしちゃいけない／・・・

#### あとがき

本書は、戦後の第二世代「新人類世代」である消費社会研究家・マーケティングアナリストの三浦展氏と、第三世代の「ロスジェネレーション」であり若者研究を担当している博報堂研究開発局の原田曜平が、第四世代＝最近の若者に対して日々抱えている疑問や違和感を、当人たちに直接ぶつけた対話集です。

対話の相手は、現役大学生の「草男」と「鉄子」（仮名）の2人。最近の若者は「草食系」などと呼ばれ、物欲や性欲がないと言われていますが、本当のところはどうなのか。本当だとすれば、なぜそうってしまったのか。三浦氏と原田のさまざまな問いかけに対し、第四世代の2人が、自分や自分たちの世代のことを赤裸々に語ります。

上の世代と第四世代の大きな違いは「情報」です。ケータイやパソコンとともに生まれ育ってきた現代の若者にとって、情報化された便利な生活はあらゆる行動の大前提になっています。しかし一方で、「情報」は彼らを束縛してもいます。24時間いつでもどこでも友達とつながりあった状態。コミュニケーションの維持管理に労力を費やす毎日。いつも不特定多数の他者の反応を気にかけ、情報から離れられず、情報に振り回されている彼らは、いわば『情報病』に陥っている状態です。

このような環境が、若者の行動や意識をどう変えたのか。上の世代からみれば「不可解」な彼らの行動の背景を、一つ一つ解き明かしていきます。デプスインタビュー時の会話をそのまま掲載。若者をターゲットとした仕事に携わられている方々に、ぜひご一読いただきたい一冊です。